

## 品詞と動詞の文型

### 文の要素と記号

主語 (S)	: 「～は」「～が」と訳すことが多い。
述語動詞 (V)	: 文型で動詞の意味が決まる。
目的語 (O)	: 「～を」と訳すことが多い。「～に」や「～と」などになる場合もある。
補語 (C)	: 第2文型は「SはCである」、 第5文型は「OがCする / Cである」という関係性をもつ。
修飾語 (M)	: 他の語句に説明を加える。

→ 英語の記号について正しく理解する。構造を把握するうえでこの記号を使いこなせるようになりたい。

### 英語の品詞

動詞	: 動詞によってとれる文型が決まる。
名詞	: 通例、S、O、C、前置詞の目的語、または同格になる。
形容詞	: Cまたは、名詞を修飾するMになる。
副詞	: 名詞以外を修飾するMになる。
前置詞	: 原則、名詞と結びついて句を構成。修飾語(M)で副詞句か形容詞句になる。
疑問詞	: SV...をともなって節を構成。名詞節になることが多い。
接続詞	: SV...をともなって節を構成。副詞節になることが多い。
関係詞	: SV...をともなって節を構成。形容詞節になることが多い。

→ 動詞に関しては第2文型、第4文型、第5文型をとれるものは暗記する必要がある。正しく品詞を理解することが正しい読解につながるので、意識的に品詞を考えて記号を振るようにするとよい。

### 節と句

節	: SV(文構造)を含むかたまり〈主節、従属節、関係詞節、疑問詞節など〉
句	: SV(文構造)を含まないかたまり〈前置詞句、不定詞句、動名詞句、分詞句など〉

→ 節や句の範囲を正しく理解することが正しい読解につながります。スラッシュで切るのではなく、どこからどこまでがかたまりで、どんな役割をしているのか考えるようにしよう。

## 品詞と動詞の文型

### 文型について

→ ほとんどの動詞が第1文型（自動詞）か第3文型（他動詞）のかたちをとります。だからこそ、それ以外の第2文型、第4文型、第5文型をとれる動詞を覚えることが重要です。

→ 各文型で動詞の意味が大きく決まる傾向があります。文型を理解することは動詞の意味を推測することにもつながることを覚えておきましょう。

### 各文型の大まかな意味

#### 第1文型

S V (M) : Mには副詞がくる

- ① Sが存在する (Sがいる、ある)
- ② Sが変化する
- ③ Sが移動する

#### 第2文型

S V C : Cには形容詞か名詞がくる

- ① SはCである
- ② SはCのままである
- ③ SはCになる
- ④ SはCのように知覚する

#### 第3文型

S V O : Oには名詞がくる

- ・ SはOをVする

→ 他動詞の代表である第3文型は特定の意味をもたない。

#### 第4文型

S V O<sub>1</sub> O<sub>2</sub> : O<sub>1</sub> と O<sub>2</sub>には名詞がくる

- ・ SはO<sub>1</sub>にO<sub>2</sub>を与える

## 品詞と動詞の文型

### 第5文型

S V O C : O には名詞、C には名詞、形容詞がくる。

O と C には主語と述語の関係がある。

① O が C である

1. 「O を C の状態に V する」
2. 「O を C であると V する」
3. 「O を C であると思う」

② C = to V

「S は O が C するように V する」

③ 使役動詞

「S は O に C させる」

④ 知覚動詞

「S は O が C するのを V する」

## 品詞と動詞の文型

### 各文型について

#### 第 1 文型

**S V (M) : M**には副詞がくる

- ① S が存在する (S がいる、ある)
- ② S が変化する
- ③ S が移動する

→ 自動詞のほとんどが第 1 文型になる。

→ 前置詞と一緒に使うものが多いので、前置詞を覚える必要もある。

#### [例文]

##### 1. Does God exist?

神は存在しますか？ (存在)

##### 2. I am here.

私はここにいます。 (存在)

##### 3. That book is on the table.

あの本はテーブルの上にある。 (存在)

##### 4. That eraser lies on the shelf.

あの消しゴムは棚の上にある。 (存在)

##### 5. That vase sits on the table.

あの花瓶はテーブルの上にある。 (存在)

##### 6. He stood at the bus stop.

彼はバス停に立っていた。 (存在)

##### 7. That car parked in the garage.

あの車はガレージに駐車してあった。 (存在)

##### 8. The stars are twinkling in the night sky.

星たちは夜空で輝いている。 (変化)

##### 9. This plant grew rapidly.

この植物はすぐに成長した。 (変化)

##### 10. The price of gas increased by 10% last month.

ガソリンの値段は先月 10%上がった。 (変化)

##### 11. This river flows into the ocean.

品詞と動詞の文型

この川は海に流れ込む。(移動)

12. This train pulled into the station.

この列車が駅に到着した。(移動)

13. His balloon rose to the sky.

彼の風船が上昇して空に向かった。(移動)

品詞と動詞の文型

14. My smartphone fell to the floor.

僕のスマホが床に落ちた。(移動)

15. That boat sailed across the sea.

あのボートは海を渡っていった。(移動)

16. That crowd surged toward the stage.

あの群衆がステージに向かって押し寄せた。(移動)

17. The children ran along the beach.

子供たちが浜辺を走り回った。(移動)

## 品詞と動詞の文型

### 第2文型

SVC: Cには形容詞か名詞がくる

- ① SはCである
- ② SはCのままである
- ③ SはCになる
- ④ SはCのように感じる

→ 動詞の後ろに形容詞があれば第2文型であるが、ほとんどの動詞は「② SはCのままである」、③「SはCになる」の意味になる。

### 第2文型を取ることができる頻出動詞

- ① SはCである  
be C
- ② SはCのままである  
remain C / stay C / keep C
- ③ SはCになる  
become C / turn C / go C / get C / grow C / sit C / stand C / set C
- ④ SはCのように感じる  
seem C 「Cに思える」 / appear C 「Cに見える」  
look C 「Cに見える」 / sound C 「Cに聞こえる」 / taste C 「Cの味がする」  
smell C 「Cのにおいがする」 feel C 「Cを感じる」

### [例文]

1. The concert will be an unforgettable experience.  
そのコンサートは忘れられない体験になるでしょう。
2. Their decision appears quite rational.  
彼らの決定はかなり合理的に見えます。
3. The book remains a classic in literature.  
その本は文学の中でクラシックな作品のままです。
4. The painting looks exceptionally vivid in this lighting.  
この照明下では、その絵は非常に鮮やかに見えます。
5. His skills have become highly sought after in the industry.  
彼のスキルは業界で非常に求められるようになりました。
6. The movie felt surprisingly long even though it was only two hours.

## 品詞と動詞の文型

その映画はたった2時間だったにもかかわらず、驚くほど長く感じました。

7. The computer seems unusually slow today.

そのコンピュータは今日、異常に遅いようです。

8. Their friendship has remained unbreakable throughout the years.

彼らの友情は年月を経ても壊れることはありませんでした。

第3文型

SVO : Oには名詞がくる

・SはOをVする

→ 他動詞の代表である第3文型は特定の意味をもたない。

第3文型の目的語の後ろに前置詞を伴う形とその意味

- ・ V + A to B : AをBに向ける。AをBに移動させる。AをBにあてはめる。
- ・ V + A for B : AをBに向ける。AとBを交換する。AをBのことでほめる。 / 非難する。
- ・ V + A on B : AをBにくっつける。
- ・ V + A as B : AをBだと思う。
- ・ V + A with B : AにBをくっつける。AとBを比較する。
- ・ V + A from B : BからAに移動する。AをBから切り離す。
- ・ V + A into B : AをBの中に入れる。AをBに変える。
- ・ V + A of B : AからBを切り離す。  
AにBを伝える。

→ 単独では一定の意味は持たないが、後ろに前置詞が伴う場合は意味が推測しやすい。

[例文]

1. She handed the key to me.  
彼女はその鍵を私に手渡した。
2. The teacher explained the rule to the students.  
先生はその規則を生徒たちに説明した。
3. They applied the new method to the experiment.  
彼らはその新しい方法を実験に当てはめた。
4. He bought a present for his daughter.  
彼は娘のためにプレゼントを買った。
5. She exchanged dollars for yen.  
彼女はドルを円に替えた。

品詞と動詞の文型

6. **The coach praised the player for his effort.**  
監督はその選手を努力のことでほめた。
7. **She pinned the note on the wall.**  
彼女はそのメモを壁に留めた。
8. **He put a label on the box.**  
彼はその箱にラベルを貼った。
9. **The child hung a picture on the door.**  
その子はドアに絵をかけた。
10. **We regard him as a genius.**  
私たちは彼を天才だとみなしている。
11. **They described the plan as unrealistic.**  
彼らはその計画を非現実的だと述べた。
12. **I see this change as a good sign.**  
私はこの変化をよい兆候だと考えている。
13. **She filled the bottle with water.**  
彼女はそのびんを水で満たした。
14. **He covered the table with a cloth.**  
彼はそのテーブルを布で覆った。
15. **We compared the new model with the old one.**  
私たちは新しいモデルを古いものと比較した。
16. **She borrowed some money from her brother.**  
彼女は兄からお金をいくらか借りた。
17. **He removed the stain from the shirt.**  
彼はそのシャツからしみを取り除いた。
18. **The police rescued the child from danger.**

## 品詞と動詞の文型

警察はその子どもを危険から救い出した。

19. He put the documents into the drawer.

彼はその書類を引き出しの中に入れた。

20. The magician turned the handkerchief into a bird.

その手品師はハンカチを鳥に変えた。

21. They divided the class into three groups.

彼らはそのクラスを3つのグループに分けた。

22. She robbed him of his wallet.

彼女は彼から財布を奪った。

23. The accident deprived him of confidence.

その事故は彼から自信を奪った。

24. They cleared the road of snow.

彼らは道路から雪を取り除いた。

25. The lawyer informed her of the risk.

その弁護士は彼女にその危険を知らせた。

26. We warned him of the danger.

私たちは彼にその危険を警告した。

27. She cured the patient of the disease.

彼女はその患者からその病気を取り除いた。

28. I reminded him of the promise.

私は彼にその約束を思い出させた。

## 品詞と動詞の文型

### 第4文型

SVO<sub>1</sub>O<sub>2</sub> : O<sub>1</sub> と O<sub>2</sub>には名詞がくる

・SはO<sub>1</sub>にO<sub>2</sub>を与える

### 第4文型を取ることができる頻出動詞

ask O<sub>1</sub> O<sub>2</sub>

「O<sub>1</sub>にO<sub>2</sub>をたずねる」「O<sub>1</sub>にO<sub>2</sub>を頼む」

give O<sub>1</sub> O<sub>2</sub>

「O<sub>1</sub>にO<sub>2</sub>を与える」

send O<sub>1</sub> O<sub>2</sub>

「O<sub>1</sub>にO<sub>2</sub>を送る」

lend O<sub>1</sub> O<sub>2</sub>

「O<sub>1</sub>にO<sub>2</sub>を貸す」

show O<sub>1</sub> O<sub>2</sub>

「O<sub>1</sub>にO<sub>2</sub>を見せる」

do O<sub>1</sub> O<sub>2</sub>

「O<sub>1</sub>にO<sub>2</sub>を与える」 ※ 実際には do O<sub>1</sub> good / harm / damage / justice などの形でよく用いる。

wish O<sub>1</sub> O<sub>2</sub>

「O<sub>1</sub>にO<sub>2</sub>を祈る」「O<sub>1</sub>にO<sub>2</sub>を願う」

save O<sub>1</sub> O<sub>2</sub>

「O<sub>1</sub>にO<sub>2</sub>を省く」「O<sub>1</sub>にO<sub>2</sub>を残しておく」

cost O<sub>1</sub> O<sub>2</sub>

「O<sub>1</sub>にO<sub>2</sub>を要する」「O<sub>1</sub>からO<sub>2</sub>を失わせる」

owe O<sub>1</sub> O<sub>2</sub>

「O<sub>1</sub>にO<sub>2</sub>の借りがある」「O<sub>1</sub>にO<sub>2</sub>を借りている」

spare O<sub>1</sub> O<sub>2</sub>

「O<sub>1</sub>にO<sub>2</sub>を割く」「O<sub>1</sub>からO<sub>2</sub>を免れさせる」

### [例文]

1. She asked me a difficult question.

彼女は私に難しい質問をした。

品詞と動詞の文型

2. My uncle gave me this watch.

叔父は私にこの時計をくれた。

3. I will send you an email tonight.

今夜あなたにメールを送ります。

4. Can you lend me your dictionary?

あなたの辞書を私に貸してくれますか。

5. He showed us his new bike.

彼は私たちに新しい自転車を見せた。

6. This medicine will do you good.

この薬はあなたのためになるでしょう。

7. We wish you every success.

私たちはあなたの成功を祈っています。

8. This shortcut will save you a lot of time.

この近道を使えば、あなたは多くの時間を省けるでしょう。

9. The mistake cost him his job.

そのミスのせいで彼は職を失った。

10. I owe my teacher a great deal.

私は先生に大きな恩義がある。

11. Can you spare me a few minutes?

少しお時間をいただけますか。

## 品詞と動詞の文型

### 第5文型

S V O C : Oには名詞、Cには名詞、形容詞がくる。

OとCには主語と述語の関係がある。

① OがCである

1. 「OをCの状態にVする」
2. 「OをCであるとVする」
3. 「OをCであると思う」

② C = to V

「SはOがCするようにVする」

③ 使役動詞

「SはOにCさせる」

④ 知覚動詞

「SはOがCするのをVする」

## 品詞と動詞の文型

O = C パターン (名詞 / 形容詞(Ving / Vpp) / 副詞)

- ① O が C であると考え \* O is C の関係が成立する / C は to be C と書くことも可能  
think 「O=C と考える」 consider 「O=C と考える」  
believe 「O=C と信じる」 find 「O=C と分かる」
- ② O を C のままにする \* 通例、C には形容詞  
keep 「O を C のままにしておく」 leave 「O を C のままにほうっておく」  
paint 「O を C に塗る」
- ③ O を C とする \* 通例、C には名詞  
call 「O を C と呼ぶ」 name 「O を C と名付ける」  
elect 「O を C に選ぶ」 appoint 「O を C に任命する」

### [例文]

1. We consider him honest.  
私たちは彼が正直だと考えている。
2. I found the room empty.  
私はその部屋が空だと分かった。
3. Keep the door open.  
そのドアを開けたままにしておきなさい。
4. Leave the window closed.  
その窓は閉めたままにしておきなさい。
5. They painted the wall white.  
彼らはその壁を白く塗った。
6. They called him a genius.  
彼らは彼を天才だと呼んだ。
7. They named the baby Emma.  
彼らはその赤ん坊をエマと名付けた。
8. They elected him president.  
彼らは彼を大統領に選んだ。
9. The company appointed her manager.

## 品詞と動詞の文型

その会社は彼女を部長に任命した。

## 品詞と動詞の文型

C = to V パターン (O が C するように V する)

① O に C させる

ask 「頼む」 tell 「言う」 order 「命令する」 advise 「助言する」  
persuade 「説得する」 encourage 「促す」 require 「要求する」

② O に C してほしい

want 「してほしい」 would like 「してほしい」 expect 「期待する」

③ O が C する原因となる

allow 「可能にさせる」 enable 「可能にさせる」 cause 「原因となる」

④ O に C 無理やりさせる

force 「無理やりさせる」 oblige 「無理やりさせる」 compel 「無理やりさせる」

### [例文]

1. She asked me to help her.

彼女は私に手伝ってくれるよう頼んだ。

2. He told me to wait outside.

彼は私に外で待つように言った。

3. The officer ordered the soldiers to move.

その将校は兵士たちに移動するよう命じた。

4. She advised him to see a doctor.

彼女は彼に医者に見てもらおうよう助言した。

5. I persuaded my father to quit smoking.

私は父を説得してたばこをやめさせた。

6. The teacher encouraged us to try again.

先生は私たちにもう一度やってみるように促した。

7. The rules require all students to wear uniforms.

その規則では、すべての生徒が制服を着ることを求めている。

8. I want you to be careful.

私はあなたに注意してほしい。

9. I would like you to join us.

私はあなたに私たちに加わってほしい。

10. We expect him to arrive soon.

私たちは彼がまもなく到着すると期待している。

品詞と動詞の文型

11. My parents allowed me to go out alone.

両親は私が一人で外出するのを許した。

12. This app enables users to share photos easily.

このアプリは、利用者が簡単に写真を共有できるようにする。

13. The heavy rain caused the river to overflow.

大雨が原因でその川はあふれた。

14. They forced him to sign the paper.

彼らは彼に無理やりその書類に署名させた。

15. The bad weather obliged us to stay home.

悪天候のため、私たちは家にいなければならなかった。

16. Nothing could compel her to change her mind.

何ものも彼女に考えを変えさせることはできなかった。

## 品詞と動詞の文型

### 使役動詞

#### make

・ C が動詞の原型 (V) : O に C させる(強制) / O が C するようにする (強い働きかけ)

#### 【定型表現】

- ・ make *oneself* understood 「自分の言うことを相手に分からせる」
- ・ make *oneself* heard 「自分の声を相手に届かせる」

#### 【受身の用法】

- ・ be made to V 「V させられる」

#### [例文]

1. His parents made him clean his room.  
両親は彼に部屋を掃除させた。
2. The teacher made the students read the passage again.  
先生は生徒たちにその文章をもう一度読ませた。
3. The joke made us laugh.  
その冗談で私たちは笑った。
4. The sad movie made her cry.  
その悲しい映画を見て彼女は泣いた。
5. The news made me feel relieved.  
その知らせを聞いて私は安心した。
6. His kindness made me want to help him.  
彼の親切さを見て、私は彼を助けたいと思った。
7. I tried to make myself understood in English.  
私は英語で自分の言うことを相手に分からせようとした。
8. She spoke loudly to make herself heard.  
彼女は自分の声を届かせるために大きな声で話した。
9. He was made to apologize.  
彼は謝らされた。

## 品詞と動詞の文型

let

・Cが動詞の原型 (V) : OにCさせてあげる(許可) / OにCさせておく

[例文]

1. My father let me use his car.  
父は私に自分の車を使わせてくれた。
2. She let her son stay up late.  
彼女は息子が夜更かしするのを許した。
3. Please let me explain.  
どうか私に説明させてください。
4. The teacher let us leave early.  
先生は私たちが早く帰るのを許してくれた。
5. Don't let the children play near the river.  
子どもたちを川の近くで遊ばせてはいけない。

have

・Cが動詞の原型 (V) : OにCしてもらう (依頼)  
・Cが過去分詞 (Vpp) : OをCしてもらう  
: OがCされる (被害)  
~~:- OをCした状態にしておく (完了)-~~  
~~・Cが現在分詞 (Ving) :- OがCしている状態にしておく / OにCし続けさせる~~

\*訂正線は通例文法問題で問われることは稀

[例文]

1. I had my brother carry the box.  
私は兄にその箱を運んでもらった。
2. She had her assistant check the schedule.  
彼女は助手に予定を確認してもらった。
3. I had my hair cut yesterday.  
私は昨日、髪を切ってもらった。
4. We had the door repaired last week.

品詞と動詞の文型

私たちは先週、そのドアを修理してもらった。

5. He had his bike stolen.

彼は自転車を盗まれた。

6. She had her bag taken by mistake.

彼女はかばんを間違えて持っていかれた。

7. Please have your homework finished by tomorrow.

明日までに宿題を終えた状態にしておきなさい。

8. I like to have everything prepared in advance.

私はすべてを前もって準備しておくのが好きだ。

9. She had the baby sleeping in her arms.

彼女は赤ん坊を腕の中で眠らせていた。

10. He had the engine running for hours.

彼はそのエンジンを何時間も動かしたままにしていた。

11. Don't have the TV running all day.

テレビを一日中つけっぱなしにしておいてはいけない。

## 品詞と動詞の文型

知覚動詞 (O が C するのを V する)

see, watch, feel, listen to, hear, notice など

### 【SVOC の C の形】

- ・動詞の原形 (V) : O が C するのを...する
- ・現在分詞 (Ving) : O が C しているのを...する
- ・過去分詞 (Vpp) : O が C されるのを...する

### 【受け身】

be Vpp + to V \*原形不定詞は、受け身では to 不定詞 になる。

be Vpp + Ving

### [例文]

1. I saw him cross the street.

私は彼が通りを渡るのを見た。

2. I saw him crossing the street.

私は彼が通りを渡っているところを見た。

3. We watched the children play soccer.

私たちは子どもたちがサッカーをするのを見ていた。

4. We watched the children playing soccer in the park.

私たちは子どもたちが公園でサッカーをしているところを見ていた。

5. She felt the ground shake.

彼女は地面が揺れるのを感じた。

6. I heard someone knock on the door.

私はだれかがドアをノックするのを聞いた。

7. I heard someone knocking on the door.

私はだれかがドアをノックしているのを聞いた。

8. I heard my name called.

私は自分の名前が呼ばれるのを聞いた。

9. He was seen to cross the street.

彼は通りを渡るの見られた。

10. He was seen crossing the street.

彼は通りを渡っているところを見られた。

品詞と動詞の文型

11. She was heard to sing in the next room.

彼女は隣の部屋で歌うのを聞かれた。

12. She was heard singing in the next room.

彼女は隣の部屋で歌っているところを聞かれた。

